

令和2年3月11日

那須烏山市議会議長 沼田邦彦 様

文教福祉常任委員会委員長 滝口貴史

予算審査結果報告書

本委員会に令和2年3月3日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和2年3月4日（水）及び5日（木）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室
- 3 出席委員 滝口貴史、青木敏久、福田長弘、相馬正典、田島信二、久保居光一郎
- 4 説明のための出席者
市民課長 皆川康代、福祉事務所長兼健康福祉課長 水上和明、こども課長 川俣謙一、
学校教育課長 神野久志、生涯学習課長 菊池義夫、他関係職員
- 5 審査事項
本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課の令和
2年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出予算
- 6 審査結果
本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、全会一致で原案の
とおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を
付することとします。

市民課

- ・熊田診療所については、地域に根差した診療所として存続していくことができるようこれまでの予算及び決算審査においても意見してきたところである。しかしながら、市の人口減少や市民の医療への意識やニーズの変化もあり、診療件数が減少し、一般会計からの繰入金や運営基金の取り崩しに依存した運営が続いている。間もなく運営基金が枯渇することが予想される財政状況を踏まえ、令和2年度中に、熊田診療所の

今後の方向性について検討することを要望する。

健康福祉課

- ・支援を必要とする高齢者世帯が増加傾向にあるが、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、民生委員を含めた地域住民による支え合いと公的支援が連動した包括的な支援体制の構築を目指し、地域包括ケアシステムのさらなる強化に取り組まれない。また、地域包括ケアシステムは、高齢者だけでなく、障がい者、ひきこもりの状態にある方、生活困窮者等、対象を広く捉えて推進されたい。

こども課

- ・今年度の市の出生数は100人を下回る見込みで、非常に憂慮すべき事態である。出生数の加速度的な減少は、将来の地域経済や市民生活に与える影響が大きく、その対策は本市における最重要課題の一つである。出生数減少の要因は様々あるが、一因である未婚化・晩婚化・晩産化対策のため、他自治体の成功事例等を調査研究し、時代に即した多様な結婚支援の方策に取り組まれない。また、そこに端を発し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、切れ目のない支援のさらなる推進を図られたい。

学校教育課

- ・中学生の海外派遣及び広島平和記念式典派遣は、厳しい財政状況の中にありながらも子供たちが貴重な体験を得るため、予算を捻出し実施している。過去において、両方の事業に派遣した生徒がいるが、限られた市の予算を公平公正に支出することができるよう、派遣する生徒の選出に配慮をされたい。また、財政状況を踏まえ、事業規模や生徒の自己負担のあり方を検討されたい。

生涯学習課

- ・人権教育、男女共同参画推進、生涯学習推進の各事業と図書館事業を一本化した、まなびフェスタ in なすからすやま2020の開催を予定している。事務の効率化や経費削減だけでなく、多くの市民に各事業が広く普及することを期待する。
- ・公民館や運動施設の使用料は、利用者と未利用者との負担の公平性を確保するため、受益者負担の原則に基づき、厳正に設定されたい。また、使用料の減免は、特例的な措置であることを前提に、明確な基準を定めて適用されたい。